

地理・地図資料

2019

3

学期

教授用資料

帝国書院



ウズベキスタン/世界文化遺産イチャンカラ(ヒヴァ)

2 帝国書院取材班が行く!
ウズベキスタン

4 GIS講座 5…根元一幸
WebGISを活用しよう
Web統計を活用した**統計地図**の作成2

8 地図にみる世界の「いま」…見宮美早
世界の森林で起きていること、
そして、私たちができること

12 いきいき授業研究 地理A…中村洋介
思考・判断・表現する**地形と防災**の授業
—平野の地形間のつながりと水害に注目して—

16 INFORMATION & TOPICS
授業で使える最新情報

18 地理の写真館…須藤進太郎
社会主義国キューバ
—首都ハバナを訪れて—

折込付録

地形学習シート

台地一下総台地 千葉県印西市, 白井市, 船橋市, 八千代市
地形解説…小口高 授業での活用例…松宮正樹





帝国書院
取材班
が行く!!

ウズベキスタン



古来さまざまな民族が行きかう「文明の十字路」の歴史をもつウズベキスタン。2018年10月に訪れた際の、現地のさまざまな人々の暮らしのようすを紹介したい。



世界遺産の内側の庶民的生活 ヒヴァ

ウズベキスタンは生産量世界第7位のウラン鉱や第9位の金鉱等を誇る資源大国である。また天然ガスは国内向けに低廉に販売され、ガソリンと天然ガスのハイブリッド車が数多く走る(写真②)。それらの資源の大部分が眠るキジルクーム砂漠の南縁を、アラル海に向かって流れるのがアムダリア川である。古来いく度となく流路を変え、そのたびに城が築かれては廃れていった(写真①)。かつてヒヴァ=ハン国の都として栄えたここヒヴァも流路の変遷によって中心都市としての役目をウルゲンチに譲ったが、かつての城壁はイチャンカラ(“内城”の意)として世界文化遺産に登録されている(表紙写真)。

サロマツトさん宅は、そのイチャンカラ内部に位置するとても庶民的な家である。大部分は城壁と同じく日干しれんがでできており、気温の高低が激しい砂漠のど真ん中でも快適に過ごせる。取材班が訪れると、香草を練り込んだ麺に具をのせて食べるシヴィトシ、平たく薄いナンなどのこの地域の食事でもてなしていただいた(写真③、動画)。ちなみに麺とナンという小麦どうしのメニューもウズベキスタンではよく見る組み合わせだ。サロマツトさんを見習い、ナンをちぎって皿に残った具まできれいに食べるととても喜んでくれた。

古都での国際色豊かな暮らし サマルカンド

以前から日本人観光客が多く訪れるというサマルカン



2



3



4



5



6



8



7



9



10

写真はすべて2018年10月撮影／帝國書院

ドでは、片言のみやげ物屋の店主から専門的教育を受ける大学生まで、日本語で声をかけられる機会が多い(写真④)。ガイドのドストンさんも、日本への留学経験があり、普段は大学で日本語を教えている根っからの知日派だ。

シルクロードの中継地として栄えたサマルカンドには、古都ならではの文化が受け継がれている。女性就労の場としても重要なじゅうたん工場(動画)のほか、751年のタラス河畔の戦い以来の伝統をもつ紙すき工場も健在だ(写真⑤)。一方でウズベキスタン国内にあってタジク人口が多く、また旧ソ連圏のためロシア語も広く通じ、それでいて義務教育では英語を学び…という多様な言語環境にあり、現代でも文明の十字路の様相を呈している。

ドストンさんは、地元テレビ局のキャスターをしているお兄さん家族とともに、郊外の新興住宅街にある一軒家で暮らしている。この日はおとなりさん(医師)とのホームパーティー。突然訪れた取材班だが、気前よくもてなしていただいた。まず出てきたのは緑茶である。せんじていない茶葉の入ったポットにお湯を入れ、湯呑に注いで戻すを3回繰り返してから飲むのがウズベキスタン流だ(写真⑥)。大きくふっくらとしたナンは行きつけの店で買った逸品で、たたくとコンコンと音がするかたい皮と内側のモチモチとした対照的な食感がたまらない。サマルカンドのナンは国内一の人気を誇り、市場ではは

なやかに飾られたものがたくさん売られていた(写真⑦)。

ソ連式都市の都会的生活 タシケント

タシケントは人口237万を誇る中央アジアの大都市にして、中国の歴史書にも「石国」として登場する(タシケントとは“石の町”の意)。しかし、とくに1966年の地震で大きな被害を受け、その後ソ連式の整然とした新市街地が整備された(写真⑧)。

案内してくれたのは、おもに外国人観光客相手のタクシー業を営むアジーズさん。英語、ウズベク語、ロシア語を流暢にあやつり、日本語こそしゃべれないが北野武監督の映画をたしなむ。中心市街地からほど近いソ連時代の中古アパートの一角で、ロシア系のカテリーナさんとともに新婚生活を送っている。独立後建造された住宅は経済性優先で壁が薄いとの理由で、頑丈なつくりの中古アパートは人気なのだそう。外観こそ古めかしいものの、室内はおしゃれにリノベーションされていた(写真⑨、⑩)。

写真は →  [こちらから](#)

動画は →  [こちらから](#)